

別記様式（第 7 条関係）

会 議 録

- 1 会議の名称 第 1 2 回富士川町新中学校開校検討委員会
- 2 会議の時間 令和 7 年 3 月 2 7 日（木） 午後 7 時から午後 7 時 4 0 分
- 3 開催場所 富士川町役場 1 階会議室
- 4 出席者数

（1）教育長	
（2）委 員	1 4 名（欠席者 7 名）
（3）部会部長	4 名（総務部会、学校運営部会、地域部会、 施設部会）
（4）事務局	3 名
（5）傍聴者	0 名
- 5 報告事項
 - （1）検討項目の結果について
- 6 会議資料の名称 別添のとおり
- 7 発言の内容
 - 1 開会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 報告事項
 - （1）検討事項の結果について

小菅部長：（総務部会の報告について、資料を基に説明）

佐野部長：（学校運営部会の報告について、資料を基に説明）

芦澤部長：（地域部会の報告について、資料を基に説明）

大木部長：（施設部会の報告について、資料を基に説明）

事務局：総務部会部長の話にあったように、富士川中学校の校歌を披露する。
（富士川中学校の校歌を披露）

委員長：ここで、富士川中学校新校長の小池校長にあいさつをお願いします。

委員：（挨拶する）

委員長：増穂中学校小林校長も一言をお願いします。

委員 : (挨拶する)

委員長 : 両校長の話、各部長の説明でおおよそイメージが掴めたと思う。

4 その他

委員長 : 過去の資料より、開校までのスケジュールの中で、令和7年の開校記念式典まではイメージできている。最終的な校舎の移転については、学校長と教育委員会でじっくり話をした方がスムーズにいくと思う。この新中学校開校検討委員会は令和9年7月の校舎が完成して移転するまでが任期であるが、検討することもほとんどない。なので、今日のこの回をもって、閉めてもいいのではないかと。継続すると、5月21日の記念式典には、新しい委員が来る。でも、今回で閉めれば令和6年度の新中学校開校検討委員会の委員が参加することにもなる。そういう意味も含め今回で閉めてはどうか。

委員 : (一同、頷く)

委員長 : 賛同が得られたので、今回の会議を最後にする。

事務局 : 今、提案があったように、委員長の発議で協議案件とし、新中学校開校検討委員会は今年度末で役を解くということで、了承を得た。そういった形で進めていく。本日付け、または今月中付けで規約を変更する。

委員 : 鰯沢中学校の校舎が空くが、管理はどうなるか。門扉はどうなるのか、実は鰯沢小学校の通学路になっている。そういった関係で鰯沢中学校の管理が、今後どうなるのか、教えてほしい。

事務局 : 閉校後の鰯沢中学校の管理は、今までと同様に警備会社の管理を継続していく。鰯沢小学校の校舎が非常に古いため、鰯沢小学校を鰯沢中学校校舎に移転できないか検討している。引き続き、管理を徹底していき、次に繋げていきたい。

委員 : 門扉は日常的に開けないのか。

事務局 : 門扉の件については、持ち帰り検討する。小学生の登校ルートになるため、確認し、善処する。

委員 : (一同、了承)

委員 : 感想になるが、鰯沢中学校の閉校式は歴代校長として、増穂中学校の閉校式は区長として両方の閉校式に参加したが、非常に子どもたちがいきいきしていた。安心したことは、富士川中学校を作っていくんだと子どもたちから感じた。また、伝統を引き継ぎ、新しい学校を作っていくという気持ちも感じ、安心した。校長先生、是非、新しい良い学校を作っていくしてほしい。

委員 : (一同、拍手)

小池委員 : 検討委員会が最後になるということで、富士川中学校の校長として感謝の一言がある。この一年は、集まる回数が多く、中身の濃い議論はありがたかった。おかげで、4月にスタートすることができる。この新中学校開校検討委員会は終わり

になるが、これからは富士川中学校の職員と教育委員会で、連携をとりながら、富士川中学校を良い学校にしていくと改めて感じた。精一杯やっていく。新中学校開校検討委員会は終わりになるが、今後ともご支援、ご指導をお願いしたい。

委員 : (一同、拍手)

教育長 : 先ほど、委員長から新中学校開校検討委員会を今回で終了にすると提案があったが、委員の皆様にご承認いただいたが、今年一年間は、忙しい中、何度も何度も集まっていたが、その中で提案いただき、教育委員会へ提言をいただいた、答申をいただいた中で、スムーズに進行することができた。その前には調査部会が必死に話し合いをした。保護者や教職員の力をいただき、原案をしっかりと作っていただいたおかげで、そういうことがスムーズに進んだと心から思っている。事務局のみんなも思いに答えるように、一生懸命がんばってきたが、十分届かなかった部分もあったが、皆様が子どもたちの笑顔のために、子どもたちの中学校生活がより良いものにするために、熱心にご検討したことで、今日に迎えられたと思っている。11日後には開校の宣言をするため、校旗が校長に手渡されて富士川中学校がスタートする。子どもたちの生活が希望溢れる素晴らしいものになるように、これからも皆様にお力添えいただき、気持ちと声援を送ってもらえたらありがたい。長い長い取り組みではあったが、やっとここで、皆様と共に収めることを心から感謝申し上げる。

委員 : (一同、拍手)

5 閉会

以 上